

数学

京都大学[文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	120 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

1は独立小問が7年ぶりに復活した。誘導のための小問はない。**4**、**5**は理系と共通

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

証明問題がなかった。常用対数表が与えられた。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1 問1 問2	整式 対数	数学II 数学II	整式の除法により、 a の値を求める 常用対数表を用いて桁数と最高位からの2桁の数字を求める	易 標準
2	2次関数	数学I	絶対値を含む関数の最小値を求める	標準
3	論理	数学A	すべての実数 b に対してある実数 x が $ax^2 + bx + c < 0$ をみたす実数 a, c の条件を求める	標準
4	確率・数列	数学A 数学B	排反な事象に分けて数列の和を求める	やや難
5	微分法	数学II	球面に内接する正四角錐の体積	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

論理的な思考力と論証力を養うこと。誘導の小問がない形で出題されることが多いので、有効な方針を立てる力を意識して身につけたい。